

# 大阪の北の都 池田の街歩き



活動報告 担当 5班

実施日 2025年9月26日（金） 天候 曇り時々小雨

集合場所 阪急池田駅 10時

参加人数 54名 + 2名（体験希望者）

行程

阪急池田駅 → 呉春酒造 → 落語ミュージアム → 池田呉服座  
→ 吉田酒造 → 伊居太神社 → 大広寺  
→ 池田城址公園（昼食・班長会議） → 小林一三記念館  
→ 阪急池田駅 解散2時半頃



小林一三記念館

池田駅の北側には、歴史的な建造物が残る地区に、池田呉服座や吳春酒造、吉田酒造などがあり、更に北の方に行くと五月山の麓に織姫伝説にゆかりのある伊居太神社（いけだじんじゃ）があります。そこからやや急坂を登ると大広寺に到着。ここから遠くを見るとはるか下の方に池田の街が見えます。池田城址公園で昼食後、小林一三記念館を見学。ボランティアガイドさんの説明もよく、見どころの多い池田の街歩きでした。

- 池田呉服座：江戸時代に建てられた芝居小屋・呉服座の優れた建築様式を一部再現してできた大衆演劇場です。
- 吉田酒造・吳春酒造：江戸中期には38件ほどの酒蔵があったそうで、今はこの二軒の酒蔵があります。
- 伊居太神社：古代中国の織姫、呉織（くれはとり）と穴織（あやはとり）が池田の地で機織を伝えたという伝説が残っており、この伊居太神社はその妹姫、穴織（あやはとり）を祭った古い神社です。
- 池田城址公園：室町時代から戦国時代にかけて、池田市域一帯などを支配していた地方豪族池田氏の居城跡地を公園として整備を進め、平成12年4月にオープン。
- 小林一三記念館：小林一三は阪急電鉄の創業者で沿線開発、宅地開発、百貨店、宝塚歌劇、映画など多岐にわたる事業を成功させた「天才起業家」です。小林一三の華麗な軌跡を貴重な資料や写真、映像で紹介しています。
- 雅俗山荘は、内部が小林一三が居住当時の状態に復元されていて往時をしのばせます。



池田呉服座



落語ミュージアム



旧加島銀行池田支店



吉田酒造付近



伊居太神社



大広寺の門の裏の龍



雅俗山荘内部

感想・ 池田はとても歴史の深い街だという事を知って感動しました。

- ・ 小林一三は交友の幅が広く、優れた人脈で活躍したことがよく分かり、よかったです。
- ・ 大広寺の門の裏に立派な龍が埋め込んで飾ってありました。夜に龍が暴れてうるさいので閉じ込めたということです。・小林一三の立派な家と庭が素敵でした。